

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

「働く」とはどうか 松本 晃 (カルビー会長兼 CEO)

1. 新年度になると、企業も個人も新たな計画の実現に走り出す時だ。その目標に、働き方改革を掲げる企業も多いだろう。だが、本当に大事なことがそこに忘れられているような気がしてならない。「働く」とはどうか。それは顧客に本当に必要なこと、重要な価値を提供することではないだろうか。私に言わせればそれ以外は、仕事ではない。働き方改革は働くということ、真の意味のものにするための改革であるべきなのだ。
2. あなたは朝、出勤したら最初に何をしますか。大抵の人は、メールのチェックだろう。でも、大事なことは、顧客にとって重要性があつて緊急性の高いものから即座に取り組むことだろう。今は、メールなどはどこでもチェックできる。朝、オフィスに着いてからメールを見て、それから考えるのでは遅い。席に着いた瞬間に、重要度の高い仕事に走り出すのが本来の働き方ではないだろうか。
3. 社員には「仕事は全て約束であり、結果に責任を取る」という考え方を説き続けている。働き方改革は本来、時間で仕事を管理する日本的働き方を変えるためのものだ。今、日本企業が取り組むべき最も大事なことを問いかけている。

(参考:「日経ビジネス」2018年2月26日号)

ワンポイント経営アドバイス

社会人基礎力の必要性

諏訪 康雄 (法政大学名誉教授)

1. リカレント教育が重視される理由の一つは、われわれが長期間働くようになったことだ。人生 100 年時代が到来し、大学卒業後から 70 代まで働くことになると、半世紀働くことになる。その間、変化のリスクに対応し続けるには学び直しの習慣が不可欠だ。そこで求められるのは、ニッチな世界でナンバーワンになること。それがオンリーワンにもつながる。どんな世界でも唯一の存在になるには、1 万時間ほどの勉強や訓練が不可欠。学びの習慣は生涯現役のベースになる。
2. では何を学ばばいいか。まず共通して言えるのは、社会人として必要な能力＝OS を身に付けておくべきということだ。2006 年に新社会人向けに、前に踏み出す力や考え抜く力、チームで働く力などの「社会人基礎力」を提唱した。それにリーダーシップなども考慮した、新たな「社会人基礎力」が必要となっている。

(参考:「週刊東洋経済」:2018年2月24日号)

心・健康・環境について

片頭痛持ちは脳・心血管に注意

1. 頭の片側がズキズキ痛む片頭痛。時には両側が痛み、発作は 4～72 時間続く。日本の片頭痛人口はおよそ 840 万人、1 対 3 で女性が多い。発症年齢は男性は 20～30 代、女性は 30～40 代が最も多く、慢性的な片頭痛に悩む現役世代は少なくない。
2. 現役世代の片頭痛持ちは脳・心血管疾患に気をつけたい。デンマークのオクス大学からの報告を参照すると「片頭痛持ちは、一般集団に比べて心筋梗塞や片頭痛持ちは男女は問わず、血圧、血糖、中性脂肪管理と禁煙、適度な運動を心がけよう。頭痛は身体からの注意報なのだ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2018年3月17日号)

古典に学ぶ

海外に交通する必要な科学的知識

(解説) 一ツ橋の高等商業学校は、明治 7 年にできたものであるが、いくたびか廃校せられんとしたのである。これはすなわち当時の人が、商人などに高い知識などはいらないと思っておったためである。私などは海外に交通するには、どうしても科学的知識が必要であるということ、声をからして叫んだが幸にも追々その機運が起こって、明治 17、8 年にはこうした傾向が盛んになって間もなく才学俱に備わった人が輩出するに至ったのである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」) 国書刊行会